

経緯

2009年10月10日	第2回日中韓サミットで李明博・韓国大統領が事務局設置を提案
2010年12月16日	日中韓協力事務局設立協定署名
2011年 5月17日	同協定発効
2011年 9月 1日	韓国(ソウル)にて活動開始
2013年 9月 1日	日本から岩谷滋雄事務局長(前駐オーストリア大使)が就任
2019年 9月 1日	日本から道上尚史事務局長(前在釜山総領事)が就任(～2021年8月)



目的

- 日中韓の政府間協議(日中韓サミット、外相会議、その他閣僚会議等)に出席し、それらの運営・管理するための支援を提供するとともに、協力案件の探求及び実施を促進することにより、3か国間の協力関係の更なる促進に寄与。

事務局組織

事務局予算は年間約3,721千米ドル。(日中韓3か国で均等に拠出)

我が国からは、1,240千米ドルを拠出(2021年度・義務的拠出金)。

事務局幹部職員は日中韓三国の政府職員から構成。一般職員は日中韓三国の出身者を公募(職員数合計31名)。

○事務局長 1名: オウ・ボツセン(中)(前中国人民外交学会副会長)
・任期2年(2021年9月～2023年8月)、韓→日→中の輪番制

○事務局次長 2名: 坂田奈津子(日)、ペク・ポムフム(韓国)
・任期2年(2021年9月～2023年8月)
・事務局長を務めない2か国から派遣

○部長4名:
総務部長(中)、政治部長(中)、経済部長(日(外務省職員))、社会・文化部長(韓)

○一般職員24名

これまでの活動実績

- 日中韓政府間協議への出席及びその運営・管理の支援
 - ・日中韓サミット(2019年12月、中国・成都)
 - ・日中韓外相会議(2019年8月、中国・北京郊外)
- セミナー、シンポジウム、文化行事等の開催
 - ・日中韓三国協力国際フォーラム
(三国持ち回りで開催。2021年韓国、2019年中国、2018年日本)
 - ・日中韓協力事務局10周年記念写真展
(2021年4月)
 - ・新型コロナ対応ベストプラクティス共有
オンラインセミナー(2020年7月)
- 日中韓協力にかかる対外広報・発信
 - ・日中韓三国統計集、日中韓三国経済報告書等の発刊 等

